

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	生物基礎	2	1年 普通科 プログレッシブ	必修	高等学校 改訂 生物基礎 (第一学習社)	セミナー生物基礎 (第一学習社)

学習目標	<p>生物や生物現象において、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り身につける。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 生物の共通性と多様性をはじめ、遺伝情報とDNA、神経系と内分泌系、生態系とその保全についてなど、各単元の基本的な概念や原理を理解できる。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけることができる。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物で判断。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1章 生物の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての生物に共通する特徴を理解する。</li> <li>生物が共通する特徴をもつ理由を理解する。</li> </ul> <p>中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ)</p> <p>第2章 遺伝子とその働き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造の特徴を理解する。</li> <li>DNAは細胞分裂に伴って複製・分配され、からだを構成するすべての細胞は同じ遺伝情報をもつことを理解する。</li> </ul> <p>期末考査 実験(体細胞分裂の観察、酵素の性質、ユスリカだ腺染色体の観察)</p>
2 学期	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体内における情報の伝達とからだの調節の関係を理解する。</li> <li>体内環境が維持されるしくみを理解する。</li> </ul> <p>中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察)</p> <p>第4章 植生と遷移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上には森林や草原など、さまざまな植生がみられることを理解する。</li> <li>植生は、周囲の環境と互いに関わりをもちながら、移り変わっていくことを理解する。</li> </ul> <p>期末考査 実験(身のまわりのバイオーム)</p>
3 学期	<p>第5章 生態系とその保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の成り立ちと生態系を構成する生物種の多様性について理解する。</li> <li>生態系における生物間の関係性や、それが生態系へ与える影響について理解する。</li> </ul> <p>学年末考査</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	生物基礎	2	1年 普通科 スタンダード	必修	高等学校 改訂 生物基礎 (第一学習社)	新課程版標準セミナー ノート生物基礎 (第一学習社)

学習目標	<p>生物や生物現象において、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り身につける。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 生物の共通性と多様性をはじめ、遺伝情報とDNA、神経系と内分泌系、生態系とその保全についてなど、各単元の基本的な概念や原理を理解できる。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。</p> <p>「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。</p> <p>「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物で判断。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1章 生物の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての生物に共通する特徴を理解する。</li> <li>生物が共通する特徴をもつ理由を理解する。</li> </ul> <p>中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ)</p> <p>第2章 遺伝子とその働き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造の特徴を理解する。</li> <li>DNAは細胞分裂に伴って複製・分配され、からだを構成するすべての細胞は同じ遺伝情報をもつことを理解する。</li> </ul> <p>期末考査 実験(体細胞分裂の観察、酵素の性質、ユスリカだ腺染色体の観察)</p>
2 学期	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体内における情報の伝達とからだの調節の関係を理解する。</li> <li>体内環境が維持されるしくみを理解する。</li> </ul> <p>中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察)</p> <p>第4章 植生と遷移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上には森林や草原など、さまざまな植生がみられることを理解する。</li> <li>植生は、周囲の環境と互いに関わりをもちながら、移り変わっていくことを理解する。</li> </ul> <p>期末考査</p>
3 学期	<p>第5章 生態系とその保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の成り立ちと生態系を構成する生物種の多様性について理解する。</li> <li>生態系における生物間の関係性や、それが生態系へ与える影響について理解する。</li> </ul> <p>学年末考査</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	化学基礎	2	1年 普通科	必履修	高等学校 改訂 化学基礎 (第一学習社)	セミナー化学基礎 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。</li> <li>・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。</li> <li>・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> <li>・さまざまな物質の性質や反応を理解し、実験を行うことができる。</li> </ul>
	「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	序編 化学と人間生活 化学が物質を対象とする科学であることを理解し、化学が人間生活に果たしている役割を学習する。  第Ⅰ章 物質の構成 ・第1節 物質の成分と構成元素 ・第2節 原子の構造と元素の周期表 物質の分類、成分の構成粒子について学習する。 中間考査 ----- 第Ⅰ章 物質の構成 ・第3節 物質と化学結合 粒子の結びつき方について学習する。 期末考査
	第Ⅱ章 物質の変化 ・第1節 物質と化学反応式 原子・分子の量的扱い、化学反応における量的関係について学習する。 中間考査 ----- 第Ⅱ章 物質の変化 ・第2節 酸と塩基の反応 酸・塩基の基本的性質、中和反応について学習する。 期末考査
3 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第3節 酸化還元反応 電子のやりとりについて学習する。  終章 化学が拓く世界 身の回りに利用されている科学技術を通して、化学の役割や新たな世の中の問題について考える。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	化学基礎	2	1年 普通科	必履修	高等学校 改訂 新化学 基礎 (第一学習社)	改訂ネオパルノート化学基 礎 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。</li> <li>・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。</li> <li>・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> <li>・さまざまな物質の性質や反応を理解し、実験を行うことができる。</li> </ul>
	「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	序編 化学と人間生活 化学が物質を対象とする科学であることを理解し、化学が人間生活に果たしている役割を学習する。  第Ⅰ章 物質の構成 ・第1節 物質の成分と構成元素 ・第2節 原子の構造と元素の周期表 物質の分類、成分の構成粒子について学習する。 中間考査 ----- 第Ⅰ章 物質の構成 ・第3節 物質と化学結合 粒子の結びつき方について学習する。 期末考査
	第Ⅱ章 物質の変化 ・第1節 物質と化学反応式 原子・分子の量的扱い、化学反応における量的関係について学習する。 中間考査 ----- 第Ⅱ章 物質の変化 ・第2節 酸と塩基の反応 酸・塩基の基本的性質、中和反応について学習する。 期末考査
3 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第3節 酸化還元反応 電子のやりとりについて学習する。  終章 化学が拓く世界 身の回りに利用されている科学技術を通して、化学の役割や新たな世の中の問題について考える。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	化学基礎	2	1年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	高等学校 改訂 新化学 基礎 (第一学習社)	改訂ネオパルノート化学基 礎 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物質の構造・反応などについて理解し、化学というものが日常生活に大きく関わっていることを知り、物質の変化への関心を高める。</li> <li>・化学の基盤となる原子や原理・法則を日常生活で使われている物を例に挙げて物質の性質や反応について理解する。</li> <li>・様々な物質の反応を実験を通して理解し、物質とその変化を微視的に捉える見方や考え方を身につける。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質のさまざまな反応・法則を理解したうえで実験を行うことができる。</li> <li>・観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけている。</li> <li>・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> </ul>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅰ章 物質の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 物質とその構成要素</li> </ul> <p>自然界を構成する物質、物質を構成する基本的な粒子についての理解を深める。</p> <p>中間考査</p>
	<p>第Ⅰ章 物質の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2節 物質と化学結合</li> </ul> <p>粒子どうしの結びつき方について学習する。</p> <p>期末考査</p>
2 学期	<p>第Ⅱ章 物質の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 物質と化学反応式</li> </ul> <p>粒子の量的な扱い方について学習する。</p> <p>中間考査</p>
	<p>第Ⅱ章 物質の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2節 酸と塩基とその反応</li> </ul> <p>酸性や塩基性を示す物質の反応、量的関係について学習する。</p> <p>期末考査</p>
3 学期	<p>第Ⅱ章 物質の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3節 酸化還元反応</li> </ul> <p>電子のやりとりを伴う反応について学習する。</p> <p>学年末考査</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	生物基礎	2	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	高等学校 改訂 新生物 基礎 (第一学習社)	三訂版リードLightノート生 物基礎 (数研出版)

学習目標	生物や生物現象において、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り身につける。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生物の共通性と多様性を始め、遺伝情報とDNA、神経系と内分泌系、生態系とその保全についてなど、各単元の基本的な概念や原理を理解している。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。
	「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。
	「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。
	「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物で判断。

学期	学習計画および内容
1 学期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 中間考査 実験(顕微鏡の扱い方とスケッチ) ----- 第3節 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 期末考査 実験(体細胞分裂の観察、酵素の性質、ユスリカだ腺染色体の観察)
2 学期	第3節 遺伝情報の発現 第3章 ヒトの体内環境の維持 第1章 体内での遺伝情報と調節 第2章 体内環境の維持のしくみ 中間考査 実験(浸透圧による細胞の変化、白血球の観察) ----- 第3章 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 期末考査
3 学期	第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	地学基礎	2	2年 普通科	(選択) 必修	改訂 地学基礎 (東京書籍)	改訂ニューステップアップ地 学基礎 (東京書籍)

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につける。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 ・地球の内部構造、プレートの運動、大気と海洋の運動、宇宙、太陽系と地球の誕生、地球環境の科学といった各単元の基本的な概念や仕組みを理解している。 ・観察・実験の基本的な操作ができる。 ・データの分析・解釈、推論などの探求の方法を習得している。
	「思考・判断・表現」 ・地学基礎に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。
	「主体的に学習に取り組む態度」 ・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。 ・授業プリントやノートを書けている。 ・身の回りの地学基礎に関する現象に興味を持ち、科学的な見方や考え方はたらかせ、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	活動する地球 地球の形と大きさ 【地球の大きさに対するスケールを理解し、その歴史をふまえて学習する。】 地球の構造 【固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。】
	活動する地球 プレートの運動とそれに伴う現象 【プレート運動によって火山活動と地震が一つの仮説で表されることを学ぶ。】 火山 【マグマの性質と火山の噴火形式、火山地形の関係を学ぶ。】 地震と地殻変動 【プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。】
2 学期	大気と海洋 地球の熱収支 【大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について学ぶ。】 大気と海水の運動 【太陽の放射エネルギーが大気の循環循環を起こさせることを学ぶ。 大気・海洋水が熱収支のバランスに大きく関わっていることも学ぶ。】
	移り変わる地球 地層の形成 【地層の重なりや変形の様子を観察する方法・地層形成のしくみを学ぶ。】 古生物の変遷と地球環境 【地球と生命の歴史を学習することにより両者の関係の理解を深める。】
3 学期	地球の環境 環境と人間 【複数の見地からの環境問題のとらえ方を学習する。】 日本の自然環境 【日本の自然環境の特徴を知るとともに日本での災害の特徴を学ぶ。】 宇宙の構成 太陽系の中の地球 【太陽系の他の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学ぶ。】 太陽と恒星 【太陽のエネルギーの源について学ぶ。恒星の性質の分析等について学ぶ。】 宇宙のすがた 【ビッグバンによる宇宙の誕生について学び、宇宙の構造を学習する。】

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	地学基礎	2	2年 普通科	(選択) 必修	改訂 地学基礎 (東京書籍)	ニューサポート改訂地学基礎 (東京書籍)

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につける。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 ・地球の内部構造、プレートの運動、大気と海洋の運動、宇宙、太陽系と地球の誕生、地球環境の科学といった各単元の基本的な概念や仕組みを理解している。 ・観察・実験の基本的な操作ができる。 ・データの分析・解釈、推論などの探求の方法を習得している。 「思考・判断・表現」 ・地学基礎に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。 「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	活動する地球 地球の形と大きさ 【地球の大きさに対するスケールを理解し、その歴史をふまえて学習する。】 地球の構造 【固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。】 ----- 活動する地球 プレートの運動とそれに伴う現象 【プレート運動によって火山活動と地震が一つの仮説で表されることを学ぶ。】 火山 【マグマの性質と火山の噴火形式、火山地形の関係を学ぶ。】 地震と地殻変動 【プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。】
2 学期	大気と海洋 地球の熱収支 【大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について学ぶ。】 大気と海水の運動 【太陽の放射エネルギーが大気の循環循環を起こさせることを学ぶ。 大気・海洋水が熱収支のバランスに大きく関わっていることも学ぶ。】 ----- 移り変わる地球 地層の形成 【地層の重なりや変形の様子を観察する方法・地層形成のしくみを学ぶ。】 古生物の変遷と地球環境 【地球と生命の歴史を学習することにより両者の関係の理解を深める。】
3 学期	地球の環境 環境と人間 【複数の見地からの環境問題のとらえ方を学習する。】 日本の自然環境 【日本の自然環境の特徴を知るとともに日本での災害の特徴を学ぶ。】 宇宙の構成 太陽系の中の地球 【太陽系の他の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学ぶ。】 太陽と恒星 【太陽のエネルギーの源について学ぶ。恒星の性質の分析等について学ぶ。】 宇宙のすがた 【ビッグバンによる宇宙の誕生について学び、宇宙の構造を学習する。】

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	物理基礎	2	2年 普通科 プログレッシブ	(選択) 必修	物理基礎 (数研出版)	リードα 物理基礎・物理 (数研出版)

学習目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につける。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。</p> <p>(3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理現象のさまざまな法則を理解したうえで実験を行うことができる。</li> <li>・観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけている。</li> <li>・物理に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> </ul> <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの物理に関する現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>物体の運動とエネルギー</p> <p>物理量の測定と扱い方【身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。】</p> <p>運動の表し方【物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解すること。】</p> <p>直線運動の加速度【物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。】</p> <hr/> <p>物体の運動とエネルギー</p> <p>様々な力とその動き【物体に働く様々な力とそこから得られる運動の法則や力のつり合いを理解すること。】</p> <p>力学的エネルギー【物体がもつ運動エネルギーや力学的エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。】</p>
2 学期	<p>様々な物理現象とエネルギーの利用</p> <p>熱と温度【熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。】</p> <p>熱の利用【熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。】</p> <hr/> <p>様々な物理現象とエネルギーの利用</p> <p>波の性質【波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。】</p> <p>音と振動【気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。】</p>
3 学期	<p>様々な物理現象とエネルギーの利用</p> <p>物質と電気抵抗【物質によって低効率の異なることを理解すること。】</p> <p>電気の利用【交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。】</p> <p>エネルギーとその利用【人類が利用可能な水力、化石燃料などのさまざまなエネルギーの利用について、物理学的な視点から理解すること。】</p>
備考	<p>・履修条件</p> <p>・注意事項</p> <p>等</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	物理	2	2年 普通科 プログレッシブ	文理Ⅱ	物理 (数研出版)	リードα 物理基礎・物理 (数研出版)

学習目標	物理的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につけることを目指す。 (1)物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。 (3)物理的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 ・物理現象のさまざまな法則を理解したうえで実験を行うことができる。 ・観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけている。 ・物理に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。
	「思考・判断・表現」 ・物理に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 ・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。 ・授業プリントやノートを書けている。 ・身の回りの物理に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	(1)様々な運動 (ア)平面ないの運動と剛体のつり合い (イ)運動量 中間考査
	(1)様々な運動 (ウ)円運動と単振動 (エ)万有引力 期末考査
2 学期	(1)様々な運動 (オ)気体分子の運動 中間考査
	(2)波 (ア)波の伝わり方 期末考査
3 学期	(2)波 (イ)音 (ウ)光 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	数学Ⅲ・化学を必ず履修すること  (3)電気と磁気 (4)原子については3年次で学習する
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	生物	2	2年 普通科 プログレッシブ	文理Ⅱ	高等学校 生物 (第一学習社)	セミナー生物 (第一学習社)

学習目標	<p>生物や生命現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成する。</p> <p>(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <p>生物の進化と系統、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答、生態と環境といった各単元の基本的な概念や原理を理解している。</p> <p>また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組みや、課題の提出物。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1章 生物の進化</p> <p>第2章 生物の系統と進化</p> <p>中間考査</p>
	<p>第3章 細胞と分子</p> <p>第4章 代謝</p> <p>期末考査</p>
2 学期	<p>第5章 遺伝情報とその発現</p> <p>第6章 遺伝子の発現調節と発生</p> <p>第7章 遺伝子を扱う技術とその応用</p> <p>中間考査</p>
	<p>第8章 動物の反応と行動</p> <p>第9章 植物の成長と環境応答</p> <p>期末考査</p>
3 学期	<p>第10章 生態系のしくみと人間の関わり</p> <p>学年末考査</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	化学	2	2年 普通科 プログレッシブ	文理Ⅱ	高等学校 化学 (第一学習社)	セミナー化学 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。</li> <li>・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。</li> <li>・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> <li>・さまざまな物質の性質や反応を理解し、実験を行うことができる。</li> </ul>
	「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</li> </ul>
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関する発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。</li> </ul>
評価の方法	「知識・技能」 実験レポートや定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 実験レポートや定期考査で判断・評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断・評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 物質の三態とその変化について、化学結合やエネルギーと関連づけて学習する。 第2節 気体の性質 気体の体積と圧力や温度との関係を学習する。 中間考査
	第Ⅰ章 物質の状態 第3節 固体の構造 結晶格子の概念および結晶の構造を学習する。 第4節 溶液の性質 溶解のしくみや、溶液とその性質について学習する。 期末考査
2 学期	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 化学反応に伴う熱・光の出入りやしくみ、量的関係を学習する。 第2節 電池・電気分解 電池・電気分解のしくみを学習する。 中間考査
	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第3節 化学反応の速さ 反応速度の表し方や、影響を与える要因を学習する。 第4節 化学平衡 可逆反応、化学平衡とその移動について学習する。 第5節 電離平衡 水のイオン積やpH、弱酸あるいは弱塩基の電離平衡について学習する。 期末考査
3 学期	第Ⅲ章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 無機物質を構成するさまざまな元素について、周期表と関連づけながら学習する。 第2節 非金属元素 水素や貴ガス、ハロゲンなどの性質・製法・用途を学習する。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	物理	3	3年・普通科 プログレッシブ	選択D	物理 (数研出版)	リードα 物理基礎・物理 (数研出版)

学習目標	<p>物理的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につけることを目指す。</p> <p>(1)物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。</p> <p>(3)物理的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理現象のさまざまな法則を理解したうえで実験を行うことができる。</li> <li>・観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけている。</li> <li>・物理に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> </ul>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</li> </ul>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの物理に関する現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。</li> </ul>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>(3)電気と磁気 (ア)電場 (イ)電流 中間考査</p>
	<p>(3)電気と磁気 (ウ)電流と磁場 期末考査</p>
2 学期	<p>(3)電気と磁気 (エ)電磁誘導と電磁波 中間考査</p>
	<p>(4)原子 (ア)電子と光 期末考査</p>
3 学期	<p>(4)原子 (イ)原子と原子核 学年末考査</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>数学Ⅲ・化学を必ず履修すること</p> <p>(1)様々な運動 (2)波 については2年次で学習</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	生物	3	3年・普通科 プログレッシブ	選択D	高等学校 生物 (第一学習社)	セミナー生物 (第一学習社)

学習目標	<p>生物や生命現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成する。</p> <p>(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <p>生物の進化と系統、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答、生態と環境といった各単元の基本的な概念や原理を理解している。</p> <p>また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組みや、課題の提出物。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第6章 遺伝子の発現調節と発生</p> <p>第1節 遺伝子の発現調節</p> <p>第2節 発生と遺伝子の発現</p> <p>中間考査</p> <hr/> <p>第7章 遺伝子を扱う技術とその応用</p> <p>第1節 遺伝子を扱う技術</p> <p>第2節 遺伝子を扱う技術の応用</p> <p>期末考査</p>
2 学期	<p>第8章 動物の反応と行動</p> <p>第1節 刺激の受容と反応</p> <p>第2節 動物の行動</p> <p>中間考査</p> <hr/> <p>第9章 植物の成長と環境応答</p> <p>第1節 植物と環境</p> <p>第2節 植物の一生と植物ホルモン</p> <p>期末考査</p>
3 学期	<p>第10章 生態系のしくみと人間の関わり</p> <p>第1節 個体群と生物群集</p> <p>第2節 生態系の物質生産と消費</p> <p>第3節 生態系と人間生活</p> <p>学年末考査</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	2年次に学習した内容の続きから授業を行う。

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	化学	3	3年・普通科 プログレッシブ	選択D	高等学校 化学 (第一学習社)	セミナー 化学 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。</li> <li>・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。</li> <li>・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> <li>・さまざまな物質の性質や反応を理解し、実験を行うことができる。</li> </ul>
	「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</li> </ul>
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。</li> </ul>
評価の方法	「知識・技能」 実験レポートや定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 実験レポートや定期考査で判断・評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断・評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	第Ⅲ章 無機物質 第3節 典型金属元素 アルカリ金属, アルカリ土類金属, アルミニウムの単体や化合物の性質を学習する。 第4節 遷移元素 鉄, 銅, 銀などの金属を中心とした遷移金属の特徴を学習する。 中間考査
	第Ⅳ章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 有機化合物の一般的な特徴や分類, 表し方, 元素分析の基礎を学習する。 第2節 脂肪族炭化水素 炭素と水素だけからなる化合物について, 結合の違いによって分類し, 性質などを学習する。 期末考査
2 学期	第3節 酸素を含む脂肪族化合物 アルコールやアルコールを酸化して得られる化合物について性質などを学習する。 第4節 芳香族化合物 ベンゼン環をもつ化合物について性質などを学習する。 中間考査
	第Ⅴ章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 高分子とその他の分子との違いや, 高分子化合物の一般的な性質などを学習する。 第2節 天然高分子化合物 天然に存在する高分子化合物について, 構成単位を含んだ構造や性質を学習する。 第3節 合成高分子化合物 人工に合成された高分子化合物について, 構造や性質を学習する。 期末考査
3 学期	終章 化学の築く未来 化学が日常生活において果たす役割や, 化学の成果が新しい科学技術の基盤となっていることを学習する。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	2年次に学習した内容の続きから授業を行う。
---------------------------	-----------------------

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	理科探究	2	3年・普通科 プログレッシブ	選択D	高等学校 生物基礎 (第一学習社) 高等学校 地学基礎 (数研出版)	チェック&演習 生物基礎 (数研出版) チェック&演習 地学基礎

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や地学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身の回りの生物や、自分たちが生きる地球という惑星への関心を高めるとともに、日常生活と切り離せないものであることを理解する。</li> <li>・生物や化学のの基本概念や原理・法則を理解し、それらを発展的に活用する能力を身につける。</li> <li>・生物や地学に関する原理・法則の基礎を理解し、生物を共通性・多様性の視点でとらえたり、地球や宇宙を時間的・空間的な視点でとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物・地学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。</li> <li>・さまざまな生物の特徴や自然現象を理解し、実験を行うことができる。</li> </ul>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物・地学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。</li> </ul>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、授業に関する発言や質問ができる。</li> <li>・授業プリントやノートを書けている。</li> <li>・身の回りの生物や地学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。</li> </ul>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <p>提出物、定期考査等で判断・評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>授業への取り組み、提出物等で判断・評価する。</p>

学期	学習計画および内容	
1 学期	第1編 惑星としての地球 第2編 活動する地球 宇宙の惑星としての地球の特徴、活動する地球、プレート、火山活動と地震の発生のしくみについて、理解を深める。 中間考査	第1章 生物の特徴 真核細胞・原核細胞の違い、生命の起源、細胞構造、代謝についての知識・理解を深める。 中間考査
	第3編 天気と海洋 大気の構造と地球全体のエネルギー収支について理解を深める。 期末考査	第2章 遺伝子とそのはたらき 遺伝子の本体であるDNA、タンパク質、遺伝情報の伝わり方についての知識・理解を深める。 期末考査
2 学期	第4編 移り変わる地球 第5編 地球の環境 地層が形成されるしくみと地質構造について、地球環境の変化について理解を深める。 中間考査	第3章 生物の体内環境とその維持 腎臓・肝臓のはたらき、自律神経とホルモンの協調、免疫についての知識・理解を深める。 中間考査
	第6編 宇宙の構成 太陽の活動のようす、一生、恒星と宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。 期末考査	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とその保全 植生の遷移、気候とバイオーム、物質循環とエネルギーの流れ、生態系のバランスについての知識・理解を深める。 期末考査
3 学期	問題演習 実際に問題を解くことによって、1年間学習した内容の理解をさらに深める。 学年末考査	問題演習 実際に問題を解くことによって、1年間学習した内容の理解をさらに深める。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	教科書・出版社名 (予定)
理科	生物(看護)	3	3年・普通科 スタンダード	選択G	高等学校 生物 (第一学習社)	新課程版セミナーノート生物 (第一学習社)

学習目標	また、生物や生命現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成する。 (1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成する。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 生物の進化と系統、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答、生態と環境といった各単元の基本的な概念や原理を理解している。 また、観察・実験などに関する記録や基本操作の技能を身につけている。
	「思考・判断・表現」 生物に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 身に起こる現象や、身のまわりの環境の変化に疑問を抱き、科学的に考察しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 小テストや定期考査、実験中の器具等の操作やレポートの内容で判断。
	「思考・判断・表現」 実験・観察のレポートの内容や定期考査で判断。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや、課題の提出物。

学期	学習計画および内容
1 学期	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化 中間考査
	第3章 細胞と分子 第4章 代謝 期末考査
2 学期	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 中間考査
	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答 期末考査
3 学期	第10章 生態系のしくみと人間の関わり 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名 (予定)	副教材・出版社名 (予定)
理科	地学基礎	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	改訂 地学基礎 (東京書籍)	ニューサポート改訂地学基礎 (東京書籍)

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身につける (1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 (3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 ・地球の内部構造、プレートの運動、大気と海洋の運動、宇宙、太陽系と地球の誕生、地球環境の科学といった各単元の基本的な概念や仕組みを理解している。 ・観察・実験の基本的な操作ができる。 ・データの分析・解釈、推論などの探求の方法を習得している。
	「思考・判断・表現」 ・地学基礎に関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。
	「主体的に学習に取り組む態度」 ・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。 ・授業プリントやノートを書けている。 ・身の回りの地学基礎に関する現象に興味を持ち、科学的な見方や考え方をはたらかせ、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	活動する地球 地球の形と大きさ 【地球の大きさに対するスケールを理解し、その歴史をふまえて学習する。】 地球の構造 【固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。】  活動する地球 プレートの運動とそれに伴う現象 【プレート運動によって火山活動と地震が一つの仮説で表されることを学ぶ。】 火山 【マグマの性質と火山の噴火形式、火山地形の関係を学ぶ。】 地震と地殻変動 【プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。】
2 学期	大気と海洋 地球の熱収支 【大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について学ぶ。】 大気と海水の運動 【太陽の放射エネルギーが大気の循環循環を起こさせることを学ぶ。 大気・海洋水が熱収支のバランスに大きく関わっていることも学ぶ。】  移り変わる地球 地層の形成 【地層の重なりや変形の様子を観察する方法・地層形成のしくみを学ぶ。】 古生物の変遷と地球環境 【地球と生命の歴史を学習することにより両者の関係の理解を深める。】
3 学期	地球の環境 環境と人間 【複数の見地からの環境問題のとらえ方を学習する。】 日本の自然環境 【日本の自然環境の特徴を知るとともに日本での災害の特徴を学ぶ。】 宇宙の構成 太陽系の中の地球 【太陽系の他の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学ぶ。】 太陽と恒星 【太陽のエネルギーの源について学ぶ。恒星の性質の分析等について学ぶ。】 宇宙のすがた 【ビッグバンによる宇宙の誕生について学び、宇宙の構造を学習する。】

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--